

BIOMIMETICS

バイオミメティクス・市民セミナー

木村 - 須田 廣美 (千歳科学技術大学 理工学部 応用化学生物学科 教授)

「骨粗鬆症の病態から学ぶ 強い骨の構造と質」

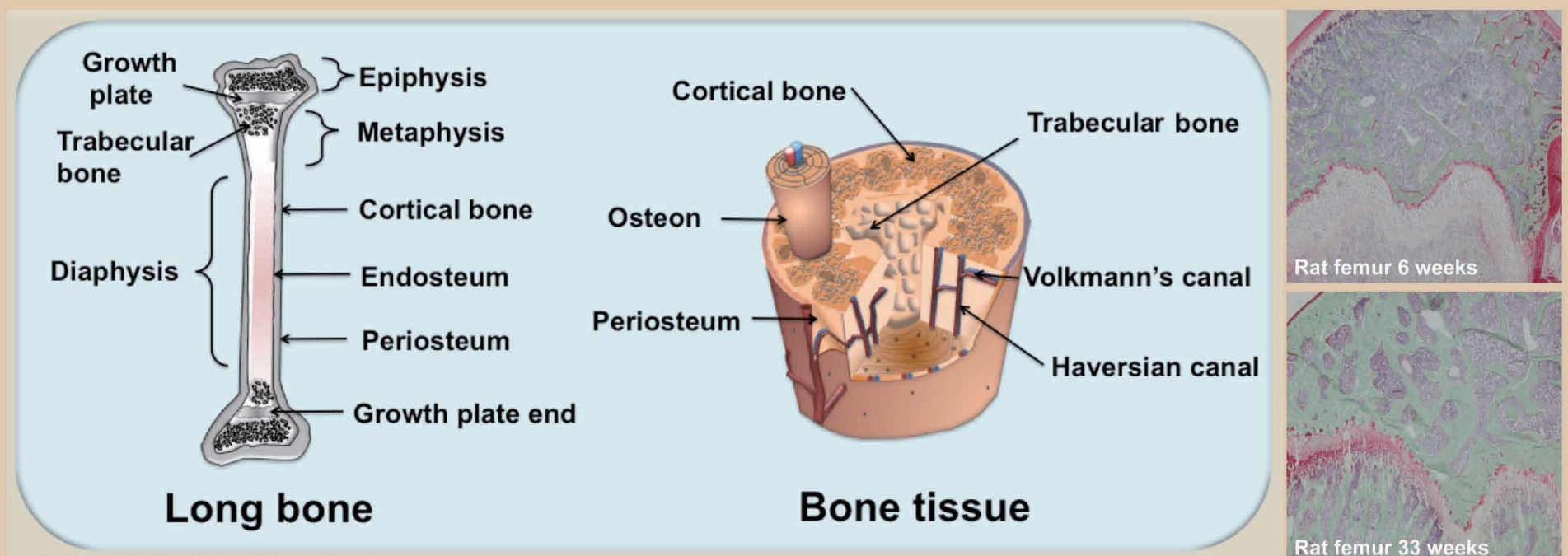
2015年12月5日 (土)

会 場：北海道大学学術交流会館 / 第3会議室
札幌市北区北8条西5丁目

時 間：午後1時30分から 午後3時30分



骨粗鬆症は、骨密度の低下と骨組織の微細構造や質に異常をきたし、骨強度の低下を招きます。その結果、骨折が起きやすくなり、いわゆる老人の寝たきり状態を生み出す原因となっています。骨粗鬆症の原因には、加齢、性ホルモン分泌の減少、糖尿病、腎臓病、喫煙など様々なものがあげられます。骨強度は70%が骨密度、残りの30%が骨質によるものと考えられています。これまで私たちは、光を使った計測技術を用いて骨質の研究を行い、骨粗鬆症の原因によって骨質が異なることを示してきました。今回の講座では、原因の異なる骨粗鬆症の構造と骨質を示しながら、強い骨と骨の健康について考えて行きたいと思います。



参考：『新 骨の科学』、Wikipedia 'Bone tissue'

主 催：北海道大学総合博物館
共 催：科学研究費新学術領域「生物規範工学」
協 賛：高分子学会北海道支部
千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター

北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp